



キャンパスを  
歩く人々を  
Snap Snap!  
スナップ スナップ  
《広大オシャレスト編》

# HU-style

広大生のための広報誌

2011 | **Apr.** vol. **25**  
広島大学



あの人に会いたい  
漫画家 **村上たかし**  
特集  
**留学ってどうなん？**

**スタッフ  
募集中!!**

本誌に対するご意見や、誌面を盛り上げるアイデアを募集中です!  
E-mail: [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)まで。  
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>





## 漫画を通じて社会を考えるきっかけに

### あの人に会いたい

Interview with Takashi Murakami

# 村上たかし

漫画家

#### PROFILE

1965年4月8日大阪生まれ。1985年ヤングジャンプにて『ナマケモノが見てた』でデビュー。作品に『天国でボン』『ナマケモノがまた見た』『はじ』『ほんまでっせ!おきさん』NHKテレビアニメ『はりもぐハリー』『ごんなん』ほか。『はじ』は文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞。映画『星守る犬』が6月11日(土)公開。現在、東広島市に在住。

村上たかし公式HP <http://www.murakamike.com/>

#### 漫画家になったきっかけ

小さい頃から割と絵を描くのが好きで、お絵かき教室にも通っていました。でも初めから漫画家を目指していたわけではなく、安定した仕事に就きたくて大学に進学し、経済の勉強に打ち込もうと思っていた矢先、何とわが家の経済が破綻してしまったんです。学費を工面するため、ありとあらゆるアルバイトをしました。そんな中、賞金目当てで応募した漫画賞で、新人賞を受賞したのがデビューのきっかけでした。



#### 理想と現実の間で葛藤

プロになってからは本当に苦労しました。特に絵画の基礎がないままデビューしたので、執筆には、人一倍時間がかかりました。週刊連載では、毎週毎週、締め切りに追われながらの自転車操業でした。

漫画の制作は、「ネーム」(構想・ネタ出し)と「作画」の2つに分けられます。ネームが長引くと、その分、作画の時間が短くなります。どちらもおろそかにはできないので、ネームをいつ切り上げるかという判断が難しく、いまだに苦労しています。本当は、もっとネームにも作画にも、たっぷり時間をかけたいのですが……。理想と現実との間で常に葛藤が絶えません。

#### 読者の声が原動力

漫画家をやっていて一番うれしいことは、読者の方から、感想のお手紙やメッセージを頂くことです。読者の声は、僕が漫画家を続けていける大きな原動力になっています。以前、病気で入院中の中学生から「面白かったです。一瞬、つらさを忘れることができました」という手紙をもらいました。漫画は、場所もとらず騒音も出ないので、入院中でも楽しめます。

一人でも、一時でも、僕の漫画で心が軽くなり、つらさを忘れることができたという反応があると、漫画家になって良かったなと思います。

#### 『星守る犬』に込めた思い

映画化が決まり、6月から公開が予定されている『星守る犬』は、ごく普通の平凡なおじさんが主人公です。健康も、仕事も、家族も失い、愛犬以外の全てをなくしてしまった主人公が、それでもなお、幸せを追い求めて最後まで旅をするという、一人と一匹のストーリーです。

近年、無縁社会や孤独死が問題視されていますが、それは私たちが「個の自由」を求めてきた結果ではないかと思っています。プライバシーの保護をはじめとして、自由で身軽な「個」の生き方を、私たちは求め、実現させてきました。しかし、その結果、人と人のつながりが希薄になり、隣人の顔が見えない社会を生んでしまいました。



西田敏行さん主演の映画が6月11日(土)に公開

作中の主人公のように、真面目に普通に生きている人が、社会の中で取り残され、理不尽に苦しい立場に追いやられていく。こういうことが、誰の身にも起こり得るのが、今の社会だと思います。ぜひ、家族や身近な人との絆を見つめ直して、大切にしてほしいと思います。

『星守る犬』は、「死」がテーマになっている、子どもたちにはテーマが重すぎたかもしれないと思い、続編は、「生」をテーマにしまし



た。『星守る犬』『続・星守る犬』の2作品を通じて、絶望からの再生、未来に向かう希望を少しでも感じ取っていただければ幸いです。

#### 広大生へのメッセージ

私も今、東広島市に住んでいますが、広島は海もあり、山もあり、とても恵まれた環境です。学生時代はぜひ、青春を謳歌し存分に楽しんでください。家族から離れて、一人暮らしを始めている方も多いと思います。今は自由を存分に楽しみ、味わってほしいと思います。でも、やがて必ず、絆を求め、「家族」をつくりたいと思う時が訪れます。その時、あなたのそばにいてくれる身近な誰かのことを、どうか大切にしてほしいと思います。

学生時代には悩んだり、壁にぶつかったりすることもあるでしょう。どうにも前に進めない時は、もしかしら荷物を持ちすぎているせいかもしれません。そんな時は、一度ちょっと荷物を置いてみて、一、二歩下がって周りをゆっくり見渡してみてください。きっと進むべき方向が見つかりますよ。大丈夫、命に関わることでなければ、大抵のことは何とかなるものです。

ところで『星守る犬』『続・星守る犬』ともに、ネームや下描きは、ほとんど広島の東広島キャンパス近くのカフェで描きました。勉強している学生さんたちにまぎれて、実はよく大学の近くで仕事をしています。もしも見かけたら、優しくしてってください(笑)。



#### 取材を終えて

今回の取材で、何事にも謙虚で前向きな村上さんの一面を知ることができました。「漫画という身近なメディアで、癒やしや安らぎを提供したい」という村上さん。私自身も村上さんの話を聞いて癒やされ、前向きな気持ちになりました! 作品と同じく人柄も、とても温かいすてきな方でした。

取材・記事/教育学部3年 渡邊 綾香

「自分の描きたいものを描いている」と断言する村上さん。村上さんの作品が人の心を動かすのは、成功するため打算的になるのではなく、自分の思いに素直に描かれた作品だからなのだと思います。これからも、独特な心温まるユーモラスな作品を生み出し続けてほしいと願っています!

取材/教育学部3年 山本 祥子



# 留学ってどうなん？

Study abroad

広大には、いろんな留学の方法があり、自分を磨くチャンスに恵まれています。留学に関する疑問にお答えします。「留学ってどんな感じ?」「いつ、どこに申し込む?」など、留学に関する疑問にお答えします。

## CASE 1 to カナダ ハリファクス

**筆谷 聡史さん** (教育学研究科M1年)  
**エピソード**…カナダの人は、知らない人同士でも驚くほど打ち解けてコミュニケーションを取ります。私がカナダへ向かう人生初の国際便の中、緊張を紛らわそうと以前友人にもらった英語版の「ナルニア物語」を読んでいると、隣のカナダ人女性が僕に「それどこまで読んだの?」と話しかけてくれました。会話は思いのほか盛り上がり、僕のつたない英語でも5時間位話していたと思います。彼女のおかげで海外生活に対する不安がかなり和らぎました。



**【留学の目的】** 語学力の向上と異文化理解  
**【利用した制度】** HUSAプログラム  
**【費用総額】** 130万 (うち奨学金: 64万)  
**【時期・期間】** 4年生・8カ月  
**感想**…もともと気が小さく人見知りをしていましたが、カナダでいろんな人と出会えたおかげで、コミュニケーションに対し積極的にになりました。もはや人見知りもなくなり、むしろ誰でも良いので話したいとすら感じます(笑)。

## CASE 4 to マレーシア 国立マラヤ大学

**瀧末 紗希さん** (国際協力研究科M1年)  
**エピソード**…マレーシアは、本当にのんびりした所です。大学のオフィスは、朝8時半から開くのですが、10時すぎに訪ねても「今は朝食中だから後で出直してこい」などと平気で言われます。また、バスなどの公共交通機関には、時刻表がありません。5分で来ることがあれば、2時間待たされることもあります。さらに、運転手が昼食を買うために路線変更したり、猛スピードで走ったり、何でもありです。戸惑う私に「大丈夫だよ」と、ひとつひとつのようになってくるマレーシア人のおおらかさに、留学当初は驚きました。

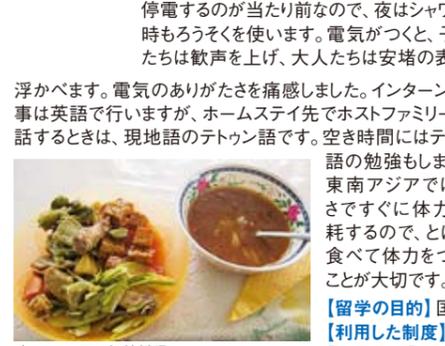
**【留学の目的】** 日本語教育のフィールドワーク  
**【利用した制度】** HUSAプログラム  
**【費用総額】** 約40万円  
**【時期・期間】** 2年生・7カ月  
**感想**…日本では与えられるものが多く、自分から動かなくても何とかなりますが、外国では自分から動かなければ何も始まらないことを実感しました。積極的に情報収集するうちに、チャンスはすぐ近くにもたくさんあることに気が付きました。



## CASE 2 to オーストラリア メルボルン

**大東 史絵さん** (医学部2年)  
**エピソード**…メルボルンは、歴史的建造物と現代の高層ビルが調和を保ち、かつ自然が豊かで、公園には野生のボッサムがいるすてきな街です。島国特有の動物や雄大な景色など、現地の自然にたくさん触れることができました。フィリピン島では、日没後に海から上がるペンギンたちの姿に、特に感動しました。現地の大学では、アボリジニの方やソマリア難民の方と話したり、現地の大学生とディスカッションをしたりして、異文化交流の意義を再確認しました。

**【留学の目的】** 異文化体験 **【利用した制度】** STARTプログラム  
**【費用総額】** 8万円  
**【時期・期間】** 1年生・9日間  
**感想**…一人一人のアイデンティティを尊重する現地の人々と会話する中で、私自身が自分のこと日本のことをうまく説明できなくてショックでした。相手を理解する前提として、まず自分を知ることの大切さを感じました。



**【留学の目的】** 異文化体験 **【利用した制度】** STARTプログラム  
**【費用総額】** 8万円  
**【時期・期間】** 1年生・9日間  
**感想**…一人一人のアイデンティティを尊重する現地の人々と会話する中で、私自身が自分のこと日本のことをうまく説明できなくてショックでした。相手を理解する前提として、まず自分を知ることの大切さを感じました。

## CASE 3 to 東ティモール

**エピソード**…東ティモールでは、昼夜を問わず停電するのが当たり前なので、夜はシャワーの時間をうまく使います。電気がつくと、子どもたちは歓声を上げ、大人たちは安堵の表情を浮かべます。電気のありがたさを痛感しました。インターネットの仕事は英語で行いますが、ホームステイ先でホストファミリーと会話するときは、現地語のテトゥン語です。空き時間にはテトゥン語の勉強もしました。東南アジアでは、暑さですぐに体力を消耗するので、とにかく食べて体力をつけることが大切です。



**【留学の目的】** 国際協力のためのインターンシップ  
**【利用した制度】** G.ecboプログラム  
**【費用総額】** 約46万円 (大学からの補助23万円)  
**【時期・期間】** 修士1年生・2カ月  
**感想**…理論は日本で学べます。現地に行くことで分かるのは、むしろ自分のことかもしれません。先入観を持っていた自分や、現地で即戦力として貢献できる知識や経験が不足している自分を再認識しました。

## CASE 6 to マラウイ (アフリカ)

**江川 愛子さん** (総合科学部4年)  
**エピソード**…貧困や飢餓の問題に興味があり、実際に発展途上国を見るために応募しました。マラウイは、時間の流れがとてもゆるく、自然が豊かです。また、貧富の差が予想以上に大きく、いい車に乗っているオシャレな人も、はだしの子どもも同じマーケットにいたことが印象的でした。マラウイでは、大学主催の国際会議のお手伝いをしました。マラウイ大学の方々と交流も充実していて、興味深い話をたくさん聞きました。



**【留学の目的】** 国際会議補佐のためのインターンシップ  
**【利用した制度】** A-A海外インターンシップ  
**【費用総額】** 約46万円 (大学より支給)  
**【時期・期間】** 3年生・約10日間  
**感想**…誰かの感性を通して自分に伝わることと、実際に現地の人との関わりの中で自分が思うことには、大きな差があるとあらためて感じました。現地に行くことで、その国とのつながりも見いだすことができると感じます。

## CASE 8 from ドイツ

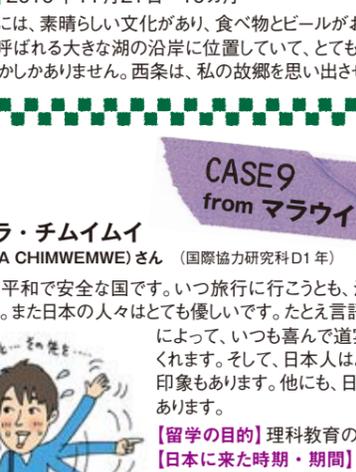
**ステファン・ドミニク・ペンクナー** (STEFAN DOMINIK PENKNER)さん (HUSA留学生M2年)  
**エピソード**…成田空港に到着した時、道に迷ってしまいました。しかし、とても親切な人のおかげで道が分かり、友人がいる場所へのバスのチケットを買えました。バス停では、親切な日本人のおいさんが、私に話し掛けてくれました。おじいさんはとてもいい人で、日本の人々が外国人に対してこんなに心を開き、友好的だったことに、とても驚きました。見知らぬ人からの親切は、日本でとても好きなものの一つです。



**【留学の目的】** 日本語とドイツ語の研究  
**【日本に来た時期・期間】** 2010年11月21日・10カ月  
**ドイツはこんな所**…ドイツには、素晴らしい文化があり、食べ物とビールがおいしいです。私の故郷ロードルフツェルは、ドイツ南部、ボーデン湖と呼ばれる大きな湖の沿岸に位置していて、とても美しい町です。南部ドイツにはたくさんの山があり、大きな都市はわずかしかりません。西条は、私の故郷を思い出させてくれます。

## CASE 9 from マラウイ (アフリカ)

**ンギラ・チムイムイ** (NGWIRA CHIMWEMWE)さん (国際協力研究科D1年)  
**エピソード**…まず日本は、平和で安全な国です。いつ旅行に行こうとも、泥棒や誘拐は心配しなくてもよいでしょう。また日本人の人はとても優しいです。たとえ言語の困難が生じて、ジェスチャーを使うことによって、いつも喜んで案内してくれるし、いろいろなことを教えてくれます。そして、日本人はよく働き、一秒一秒を大切にしているという印象もあります。他にも、日本にいい印象を受けるエピソードがたくさんあります。



**【留学の目的】** 理科教育の研究  
**【日本に来た時期・期間】** 2009年11月23日・1年5カ月  
**マラウイはこんな所**…マラウイは、アフリカの南東部に位置する内陸国で、フレンドリーな国民性から「アフリカの温かい心 (Warm Heart of Africa)」というキャッチフレーズで有名です。農業がマラウイの経済基盤で、タバコ、トウモロコシなどが作られています。また、アフリカ大陸で3番目に大きいマラウイ湖には魚がいっぱいいて、湖畔の居住者にとって主要な食料源になっています。

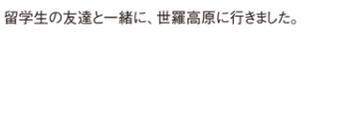
## CASE 5 to 中国 北京

**中村 陽介さん** (経済学部3年)  
**エピソード**…北京の街は車であふれ、ドミノのように高層マンションが建設されています。北京のエネルギッシュな雰囲気や、現地の大学で語学を勉強しながら味わえたのは、非常に刺激的でした。朝、授業で学んだフレーズを昼に街中で使ってみることを繰り返すと、3週間と短い期間でも、使えるフレーズがどんどん増えて、会話が上達しました。そしてお店で食事するのもタクシーに乗るのも怖くなくなった時、すごく成長を実感しました。



## CASE 10 from インドネシア

**ヌリア・ハリスティアニ** (NURIA HARISTIANI)さん (教育学研究科D2年)  
**エピソード**…日本に来て印象的だったのは、宗教の祭日が休みにないことです。インドネシアでは5つの宗教が認められ、それぞれの宗教の祭日が休日になっています。例えばイスラムには大きな祝日が2つありますが、その日はムスリムは集まってお祈り、ごちそうを食べるのが習慣です。日本ではこの日が休みではないので、広大なイスラムの留学生が集まって行うお祈りに、授業で行けず、悲しい思いをしたことがあります。



## CASE 7 to フィリピン

**桑原 晶子さん** (総合科学部4年)  
**エピソード**…貧困層地区 (いわゆるスラム、スクウォータ) 訪問は衝撃的でした。貧困層地区は外から見えないように隠されており、政府による強制取り壊し・撤去の跡もあり、政府と住民との対立が見取れました。一方で子どもたちは明るかったです。私の名前である「しょうこ」が現地の子どもたちには「ちよこ」と聞こえたようで、「チョコレート」とうれしそうに何度も話し掛けてくれました。とてもかわいかったです!!



**【留学の目的】** 貧困問題や環境問題の現地視察  
**【利用した制度】** 国際協力特定プログラム  
**【費用総額】** 約10万円 **【時期・期間】** 3年生・7日間  
**感想**…一つの物事に対して、さまざまな視点から意見を聞くことが大切だと感じました。その上で、自分は何の立場を取るのか、どう動くのかを判断することが重要です。国外に出ることで、日本という国を見つめ直すことができました。





# 留学現地レポート

留学生活とはいったいどんなものなのでしょう？  
現在ハワイに留学中のHU-styleの学生スタッフが現地からリポートします！

profile  
山内勝弘 ハワイ大学マノア校に、HUSAプログラムで2010年8月から留学中。広島大学教育学研究科M2年生。

ある平日編 2月某日、天気/晴れ、気温/27度



**起床・朝食**  
朝は27度の気温と、キラキラ光る太陽がお出迎えです。この日も晴れ。



**昼食**  
大学院の友人と昼食を取ります。授業前の安らぎです。この日は、授業の先生・クラスメートと食事会でした。

**登校、大学のカフェテリアへ**  
毎日50ページ以上の論文・教科書を読んでいます。大抵は夜にやりますが、本当に多いときは翌朝カフェテリアで続きを読んでいます。

**授業1 第二言語リーディング論 (Second Language Reading)**  
週に2回ある授業の1回目です。

**授業2 第二言語習得論 (Second Language Acquisition)**  
この日2つ目の授業。先生は世界で最も有名な研究者の一人。授業の後に、先生が執筆された文献の入手方法について質問。



**授業終了・帰宅**  
帰ったらひとまず休憩。下宿の隣にあるヨーグルトランドで甘いデザートを食べたり、寝たりします。

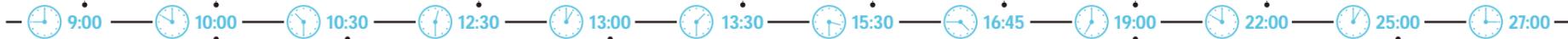


**サッカーの試合に出場**  
ノルウェー・フランス・韓国の友人と出場。この日は1-0で勝利。後半から出場して、チームの勝利に貢献しました。



**課題**  
この日は過去最多！教科書140ページの読書課題。そのうち半分の70ページを読んで、残りは翌日に回しました。

就寝



起床

**ワイキキリーディング**  
朝ご飯とゴザ、本を持ってワイキキへ。その名も、ワイキキリーディング。



**ダイヤモンドヘッドにハイキング**  
今日は友人たちとハイキングです。ワイキキの街を見下ろしながら、頂上で友人たちと記念撮影。



**ワイキキのバーでパーティー**  
夜はバー Senör Frogsで、友人と飲み会。



帰宅・就寝



ある休日編 2月某日、天気/晴れ、気温/26度

留学前は井の中の蛙でした！

アロハ!!

ハワイ大学マノア校では目まぐるしく一日が過ぎていきます。平日は図書館や勉強部屋にこもることが多く、毎日夜遅くまで勉強しています。週末は、朝早くから友人と出掛け、一日中外出して、ハワイを満喫します。日本では自分の英語力や専門性に自信を持っていましたが、いざ海外に出て、専門分野についてのグループディスカッションで、積極的に英語で発言する友人たちを見ると、自分が井の中の蛙だったことに気が付き、自信を失いかけた時期もありました。しかし自分は自分、他人は他人と割り切って、自分の成長のために日々できることを続けました。会話へ参加し、友人をつくり、一人になってもニュースを見て論文を読むことで切磋琢磨しています。この留学は「自分はまだまだ成長できる」と気付かせてくれた、私の人生における大きな転換期といえるでしょう。

## 広大生よ、世界で自分を磨け！



佐藤利行国際センター長

広島大学は、学生の海外留学を積極的に推進しています。現在海外から広島大学に来ている留学生の数は約1,100人で、広島大学から海外へ留学している学生数の10倍近くです。広島大学から海外留学に行く学生数は、ここ2~3年増加傾向にありますが、さらに海外留学を推進して、今後はこの2つの数字のバランスが取れるようにしていきたいと考えています。

私自身は学生の時に、訪中団に参加し、2週間中国を旅行する機会がありました。当時は中国との国交が回復した直後で、外国人は非常に珍しく、私たちは国を挙げて歓迎を受けました。事前に、中国政府から髪形や服装に至るまで指定があり、現地での自由行動や写真撮影にも制限がありました。それでも当時は、一生に一度行けるか行けないかと考えられていた国

しませんが、語学力をそれほど気にしなくてもよいと、私は思います。言葉は現地ですら生活するうちに、必要に迫られて自然と身に付くものです。私の専門は中国文学ですが、中国語が身に付いたのは、例えば買い物や病院での診察など、普段の生活の中です。



ですから、その雰囲気を感じることができたのは、非常に貴重な経験でした。

就職活動期間を圧迫するという理由で、留学を断念するケースがあります。しかし本当に、留学は就職活動に悪影響を与えるのでしょうか？ 実はそういったことを証明するデータはありません。あくまで学生が持つ印象だと思います。最近では、留学経験者を積極採用する企業も増えています。

広大生の皆さんに伝えたいのは、大学は義務教育ではないということです。自分で選んだ学校ですから、母校に愛着を持ってほしいと思います。海外に行ったとき、広島大学の学生であることを誇れるよう、研鑽を積んでください。

広島大学には多くの留学制度があります。おすすめは受け入れ先が豊富なHUSAや団体で留学して英語を学ぶEnglish+ALOHAプログラムです。新入生の皆さんには、学長が推進するSTARTプログラムがおすすめです。またキャンパス内でも、留学生と交流できます。留学生と昼食を持ち寄るランチミーティングなど、さまざまな企画があるので、ぜひ参加してみてください。



## 広島大学で利用できる主な海外派遣プログラム

申し込み時期などの詳細は、それぞれの問い合わせ先でご確認ください。

### HUSAプログラム(短期交換留学)

行き先:協定大学の所在する国  
期間:6カ月~1年間  
対象:学部生・大学院生  
問い合わせ先:国際センター  
申し込み時期:前年11月

広島大学に在籍したまま、留学先大学で正規の授業を受講できるプログラム。留学先で取得した単位を広島大学の単位へ組み替えられる場合もある。異文化体験、現地言語習得に加えて、現地の大学生と同じように学習・研究に取り組める。海外のキャンパスライフをじっくり味わいたい人にオススメ。

### 夏期中国語研修(首都師範大学中国語研修)

行き先:中国/北京  
期間:夏休み中3週間  
対象:学部生  
問い合わせ先:国際センター  
申し込み時期:4~6月



夏休みの3週間を利用して、首都師範大学に留学するプログラム。大学での中国語レッスンの他にも、故宮博物院や万里の長城の見学、京劇鑑賞など、中国の歴史や文化に触れる機会や、現地学生との交流の機会がたくさん設けられている。中国に興味のある人にオススメ。

### エクセター大学英語研修プログラム&エクセターアカデミー英語研修プログラム

行き先:イギリス/エクセター  
期間:夏休み中1カ月  
対象:学部生・大学院生  
問い合わせ先:外国語教育研究センター  
申し込み時期:5~6月



エクセター大学内の研修センターまたは語学学校で、多様な国籍の生徒で構成されるクラスに入って、語学研修を行うプログラム。現地での生活はホームステイなので、昼も夜も英語暮らし。徹底して英語を身に付けたい人にオススメ。

### ハンブルク大学ドイツ語サマースクール

行き先:ドイツ/ハンブルク  
期間:夏休み中1カ月  
対象:学部生  
問い合わせ先:外国語教育研究センター  
申し込み時期:前年12月~1月



ドイツ語の初級者を対象とした語学研修。第2外国語でドイツ語の授業を1年受講していれば、誰でも参加できる。参加者2人ごとに1人のドイツ人学生が付き、少人数授業が受けられるのも特徴的。週末には遠足などのイベントも。

### English+ ALOHAプログラム

行き先:アメリカ/ハワイ  
期間:夏休み中3週間  
対象:学部生・大学院生  
問い合わせ先:国際センター  
申し込み時期:4~5月



語学教育で有名なハワイ大学で、英会話を中心とした授業を実施。その他にもハワイの文化を学ぶプログラム、ハワイの大学生との交流、さらには学外での体験実習などもある。夏休みを利用した団体留学なので、時間を有効活用したい人にオススメ。

### G.ecboプログラム(海外インターンシップ)

行き先:アジア・アフリカ等  
期間:1~3カ月  
対象:大学院生  
問い合わせ先:国際センター  
申し込み時期:4月

大学院生を対象に、国際社会で活躍できる人材の育成を目的に途上でインターンシップを実施。事前研修を経て、海外の研究機関、行政機関、国際協力機関、NGO等に派遣され、研修・研究活動を行う。よりプロフェッショナルな海外実習を希望する人にオススメ。

### 国際協力特定プログラム

行き先:アジア発展途上国  
期間:夏休み中10日間程度  
対象:学部3年生  
問い合わせ先:国際協力研究科

広島大学の授業として、現地研修に参加するプログラム。国際協力に関する講義・演習とセットで開講。実際に発展途上国での生活を体験し、国際協力活動への理解を深めることが目的。3年生が対象だが、HiPROSPECTS®[国際協力特定プログラム]に登録する必要がある。

### A-A海外インターンシップ

行き先:アジア・アフリカ等  
期間:2週間程度  
対象:20歳以上の学部生・大学院生  
問い合わせ先:教育開発国際協力研究センター  
申し込み時期:随時募集

発展途上国で、国際会議運営などアフリカ・アジア大学間対話ネットワークの業務に携わるインターンシップ。国際社会が抱える課題、国際協力現場への理解を深めることが目的。ニュースの向こう側を自分の目で見た人にオススメ。

### STARTプログラム

行き先:オーストラリア・ベトナム他  
期間:夏休み  
対象:学部1年生  
問い合わせ先:国際センター  
申し込み時期:6月・12月



海外経験の少ない学部新入生が対象で、オーストラリアなど海外の協定大学を訪問し、現地大学生との交流や周辺都市の観光などを行うプログラム。大学から補助が出るため費用も安く、教職員が引率するので安心。1年生の初めての留学にオススメ。

# 学生取材班が行く

はやりのネタや時事問題、ちょっと気になる先生など、あなたの「知りたい」を学生取材班が調べてレポートします。



## 平和科目必修化がスタート

平成23年度から、新入生を対象に、平和科目が必修化されました。既存の科目に新設の科目を加え、19の授業科目、全25コマが平和科目群として準備されました。学生はそこから1科目(2単位)を選択履修することになります。各科目は、戦争・原爆・貧困・



飢餓・人口問題・環境など、さまざまな学びを提供する内容です。必修化を推進してきた平和希求委員会平和教育部会座長の川野徳幸准教授にお話を伺いました。

「キャンパスが東広島市に移転したことで、お話を伺った川野先生 学生にとって原爆ドームや平和公園などが身近でなくなり、平和について考える機会が減りました。ヒロシマの歴史から学生たちが乖離していく危機感が平和科目必修化の原点です」

必修化には、反対もあったようです。「多様な考え方があり、そもそも平和とは学ぶものなのかといった声もありました。しかし、世界で初めて核兵器の被害を受けたヒロシマの大学として、平和を考えることは私たちの使命でもあります」と先生。

平成20年に始まった「学長からの宿題」も後押ししました。平和モニュメント等を見学し、3年間で約5,400人が平和レポートを提出しました。学生から寄せられた声に、川野先生は平和科目必修化への手応えを感じたそうです。今年1月には平和レポート優秀者授賞式が行われ、123人が受賞しました。

受賞者からは「平和は、個人では達成できません。積極的に話し合いをし、考えていきたい」(理学部3年榊原涼二さん)、「広島出身の私にとって、今回のレポートは、広島に生まれた意味を考え直すきっかけになりました」(法学部4年佐々村沙織さん)などの感想が聞かれました。



榊原涼二さん



佐々村沙織さん

式では、新入生に配付する平和モニュメント等見学用の平和バッグのデザイン優秀賞も表彰され、渡部心さん(工学部4年)のデザインが選ばれました。



平和バッグデザイン  
渡部心さん

「平和に関わるテーマを切り口に、物事を多角的に捉え、豊かな思考力を身に付けてもらいたい」という川野先生。平和科目必修化が、自分自身を考える契機になればと思いました。

取材・記事/教育学部2年 阿部 翠



## ヒバリを守る

野生動物と触れ合えるキャンパスに

広島大学の魅力、その一つは東広島キャンパス全体に広がる豊かな自然だといえるでしょう。そしてこの自然は、野生動物たちのすみかでもあります。

文学研究科の古瀬清秀教授は、大学に生息するヒバリを守る取り組みを数年前から始めています。この取り組みを始めた理由についてお聞きしました。

「きっかけは、欧米で、野生動物との日常的な触れ合いを目にしたことです。日本ではあまり見かけない光景です。身近な野生動物がやって来て、人と自由に触れ合える社会を、この東広島キャンパスで実現したいと思ったのです」

古瀬先生とお話した古瀬先生 見かけない光景です。身近な野生動物がやって来て、人と自由に触れ合える社会を、この東広島キャンパスで実現したいと思ったのです」

「広くヒバリがよく観察されるのは、文学部周辺の芝生やマーメイドカフェの裏だ

そうです。「ヒバリは、春から夏にかけて、草地に巣を作り卵を産み育てをします。そこで、3月からヒバリの子が巣立つ7月までの間、文学部から法学部・経済学部周辺の芝刈りを待ってもらっています。キャンパスに暮らす身近な野生動物を意識する取り組みが、キャンパス全体に広まることを願っています」

古瀬先生の思い描く理想は、ズバリ、広島大学総合博物館の理念「大学まるごとミュージアム」です。大学にあるさまざまな動物や植物を保全し、大学そのものを自然の生き物が観察できる博物館にすることです。ヒバリを守る取り組みは、その夢への第一歩。

「自然を感じられる場として、学生や教職員はもちろん地域の人たちが気軽に足を運べる存在となってほしいですね。東広島キャンパスでは、ヒバリ以外にも数多くの野鳥が観察できます。せっかく広島大学に入学したのだから、この場所で勉強していることをしっかりと感じて、東広島キャンパスの豊かな自然も、思い出の一つにして卒業してください」

と古瀬先生。多くの野鳥が集まる東広島キャンパス。たまにはのんびり散策してみると、いろんな発見があるかもしれません。

古墳時代の石棺内につくられたヒバリの巣(文学部中庭)

古墳時代の石棺内につくられたヒバリの巣(文学部中庭)

古墳時代の石棺内につくられたヒバリの巣(文学部中庭)

取材・記事/教育学部3年 山本 祥子

## Knock on the door

### 公正な金融市場を目指して

社会科学部 松原研究室訪問

#### 企業と投資家のより良い関係づくり

松原先生の専門は、会社法や金融商品取引法(前:証券取引法)です。会社法は株式会社の制度全体を定めた法律、金融商品取引法は、株式や社債などさまざまな金融商品の取引のルールを定めた法律です。松原先生は、その中でも金融商品取引法を用いた企業の資金調達に焦点を合わせて研究しています。

「株式や社債を発行するときに、企業はどんな情報を市場へ開示すべきか、投資家はどこまで信用していいのか。そのルールを中心に研究しています」さらに先生は、投資家保護の観点から、セミナーを通じて法改正や企業が守るべきルールを啓蒙し、公正な市場ルールの構築や企業と投資家のより良い関係づくりに取り組んでいます。

#### ツールとしての金融商品取引法

「刻々と変化する世界情勢に合わせ、企業の金融を取り巻く法律も変化していきます。資金調達においては、変化する金融環境やそれに伴う新たなルールについていくことが不可欠です。企業は金融商品取引法を知り、うまく利用することで、他社に一步も二歩も先んじて、有利に資金を調達できます。金融商品取引法は、いわゆるツールとして使われるところが、他の法学の領域とは違ってきます」

#### 気付いたら法学の道へ

日々、学生の指導に忙しい松原先生ですが、学生時代の先生は、学問に関してあまりまじめではなかったといいます。しかし4年生の時から真剣に勉強を始め、次第に法律が面白いと思うようになったそうです。「特に決定的なきっかけがあったわけではないですが、勉強するうちに面白くなっていきました。気付いたら教員になっていたところでしょうか」

#### 講義はプレゼンテーションの場

松原先生は、講義は教員のプレゼンテーションの場と言います。「集中力を90分間持続するのは難しいので、講義の内容をいかに面白くするかに注力します。最近の話題を取り入れたり、講義中の飲食を自由にしたりと、学生に集中してもらうための工夫をしています」

一方、ゼミは学生のプレゼンテーションの場とのこと。「学生はフリーテーマで15分程度のプレゼンを行い、それについて学生同士で議論します。自分の次に発表した友達が、明らかに自分より出来がいいと感じる時がありますよね。そんな時ほど学生は焦るから、勉強するんです。学生同士が切磋琢磨できるよう、僕は聞き役に徹します」

#### 広大生はもっと自信を持とう

最後に、就職指導にも定評のある松原先生からアドバイスです。「就職指導をしていると、広大生は、地方大学だからがんばっても都会の大学に勝てないんじゃないかと諦めている反面、中・四国でトップの大学としての自負心もあるように思います。僕が見ている限り、広大生は世間で求められる能力は十分にクリアしているし、都会の大学生と比べても遜色はありません。卑屈にならずに、自信を持ってがんばってください」

取材・記事/教育学部3年 佐々木 菜央



松原正至

社会科学部  
教授

神戸大学大学院法学研究科博士後期課程単位取得退学。島根大学法学部助教授などを経て、1996年本学法学部助教授、2007年から現職。専門は会社法・金融商品取引法。金融商品取引法の研究を通じて、企業の資金調達のルール付けを研究。経済紙を読みこなし力を育成する講義なども開講し、就職活動にも力を入れている。修士(法学)。



ゼミの学生に就職指導



企業に関する専門書



なんとなく集まってきた(?)モノたち





山本和英 Kazuhide Yamamoto  
宇宙航空研究開発機構 研究開発本部 開発員  
(2007年3月 理学研究科修了)

いろいろな価値観に触れてみよう

—JAXAに就職したきっかけは？

私が在籍していた理学研究科物理科学専攻の研究室では、JAXAとも共同研究を行っています。学生時代から宇宙関係の仕事に興味がありました。一般企業への就職も考えましたが、宇宙関連の分野を学んだのも何かの縁かと思ひ、研究室ともなじみ深かったJAXAへの就職を決めました。今は1m角サイズの小型衛星の開発を行っています。私は衛星の電源機器の開発を担当しています。

—学生時代の経験で、今、役立っていることは？

学生時代には、他学部の人や外国人講師の方など、異なった分野・文化の人との交流を通して、さまざまな価値観に触れる機会が多かったですね。3年生の時には、会話



筑波宇宙センター内の展示館

パートナーにも参加して、外国人留学生と仲良くなり、いろいろな考えを持つ人と接することができました。そこで、自分の考え方や常識が全てではないのだと実感しました。

いろいろな人と意見を交換しながら、物事をより良い方向へ進めるといことは、仕事でも生きています。今の部署では上司にも気兼ねなく相談できるし、同僚のフォローもあるので、みんなで協力して仕事に取り組んでいます。何年かたって後輩ができたときも、自由な雰囲気の職場で、チームワークのいい集団でありたいと思いますね。

—学生時代と変わったことはありますか？

自分の仕事に対する責任ですね。学生時代は、先生や大人が責任を取ってくれるモラトリアムの期間。でも社会人になったら、自分の仕事には自分で責任を取らないといけません。学生時代のように漫然と作業するのではなく、

予測値など事前に当たりをつけてから試験をし、問題が起こった際には事実をしっかりと確認するよう心掛けています。一度打ち上げた衛星に不具合が生じても、修理ができないので、事前にできる限りの試験確認を行っています。

—衛星の打ち上げの瞬間は、どう感じましたか？

実は、自分が携った衛星の打ち上げを現地の種子島で見たのですが、それほど実感が湧きませんでした。曇っていたので打ち上げ後すぐ視界から消えてしまい、感動する間もありませんでした。むしろ、軌道上の衛星からデータが送られてきた時が、感慨深かったですね。自分たちの手で造った衛星が、宇宙で本当に動いていると実感できて、うれしかったです。衛星と通信できる時間帯は限られており、そのころは仕事が深夜の作業になることも度々で、疲労もありましたが、非常に充実感もありました。



宇宙服のレプリカも見られる

—後輩へのメッセージを！

やりたいと思ったことにはチャレンジして、出会いを広げてみるといいと思います。大学の中にはいろいろな価値観を持った人と触れ合う機会がたくさんありますし、交流を重ねるうちに、どんどん自分の知らないことが発見できると思います。いろんなことに挑戦して、悔いの残らない大学生活を送ってください。



社会の第線で活躍している先輩たちの職場を訪ねて、突撃インタビュー。仕事のことから学生時代に身につけておくべきことはまた「ハインツの経験」私たち学生の素朴な疑問・質問にお答えいただきました。

# 羅針盤 OBG&OG 紹介

compass

—2010年度「新潮」新人賞を受賞されましたが、その感想を聞かせてください

書き終わった時、「これは、もしかしたらいけるかもしれない」という予感がありました。とはいえ、出版社から最終候補に残ったと電話があった時には驚きました。受賞できて本当に良かったです。

—小説を書こうと思ったきっかけは？

もともと小説を読むのは好きでしたが、「書こう」とか「書ける」とは思っていませんでした。結婚を機に、主人が好きなバルガス＝リヨサなどの海外文学に触れるようになりました。リアリズムと幻想の混じり合った文学で、想像以上に面白く、刺激を受けました。次第に、「自分も書きたい」「自分にも書けるのではないか」という気持ち生まれ、主人の後押しもあって、3年前から小説を書き始めました。

—どのように執筆されているのですか？

1文を書いたら、次の文がずらずと引き出されて、考えるより先に手が勝手に動いていく感じです。もう何も思いつかないところまで書いたら、今度はそれを見直して、「さて何を書きたいんだろう」と考えるんです。そして、ある程度書きためた断片を削ったり書き足したりしながら、小説の形を作っていきます。ちょっとずつ書きためた断片を1つにまとめるのは、非常に労力が要ります。今はとにかく、書くことが楽しいですね。



執筆に使うパソコンと書棚

執筆で大切なのは、できるだけ毎日書くこと、読むことです。今は仕事と家事をしながらですが、毎日コツコツ書いています。執筆にのめり込むと、つい周りへの配慮を忘れてがちですが、執筆を支えてくれる夫や家族への心配りを忘れず、ちゃんと声に出して「ありがとう」と言うことを心掛けています。

—今後の目標は？

当面の目標は、単行本を出すことです。この1年以内には実現させたいですね。将来的には、作家として食べていくのが目標です。私は、小説で何かのメッセージを伝えるというよりは、芸術として価値があり、かつ読んで面白い作品

を書いていきたいと思っています。

—広大生へメッセージを

大学時代は、人生の中でも貴重な時間です。エネルギーを要することは、時間が十分にある学生時代にしておくべきだと思います。私の場合、学生時代に「どうしてもっと本を読んでおかなかったのか」と後悔しています。



現在、就職難と言われていますが、やりたいと思ったことには、恐れず挑戦してほしいですね。社会に出て働くことは、自分の市場価値を知ることでもあります。実際は試練ばかりかもしれませんが、自分を高める貴重な経験でもあります。それは正規採用でも非正規採用でも同じです。学生時代にいろんなアルバイトを体験して、経験の幅を広げておくのもいいと思います。



小山田浩子 Hiroko Oyamada  
作家・主婦 作品「工場」で2010年度新潮新人賞を受賞  
(2006年3月 文学部卒業)  
趣味の世界から見つけた、自分の道!

## 取材を終えて



落ち着いた物腰で、終始和やかにインタビューに応じてくださった山本さん。「やりたいと思ったことにチャレンジしてみる」というメッセージをいただきました。自分もあと2年間の学生生活でやりたいことにチャレンジしていこうと思いました。

取材・記事/法学部3年 武林 賢明



仕事・家事・執筆の3つを両立させている小山田さん。私も見習わなければと思いました。何より支えになっているのはご主人ということで、何だか幸せのおこぼれをもらった気分です。小山田さんに会って、より一層文学に興味を湧き、これからたくさん本を読んでもみようという気持ちになりました。小山田さんの次回作が楽しみです!

取材・記事/教育学部2年 福永 藍



# 夢は日本文学のプロフェッショナル

—イタリアに日本の文化を紹介したい—

**キアラ・コマストリ Chiara Comastri**  
日本語・日本文化研修留学生 (イタリア出身)



**プロフィール**  
イタリアのボローニャ市出身。ヴェネツィア大学で日本文学を学びながら、短期留学で4度来日。2010年10月から文部科学省の日本語・日本文化研修留学生制度で、広島大学へ。国際センターで日本語と日本文化、日本社会の授業を受けつつ、文学部の授業も聴講している。日本で働くのが夢で、研究者や大学の先生になりたいと思っている。イタリア人に日本の文化を紹介する翻訳関係の仕事にも興味を持っている。

## 歴史あふれるボローニャ

私が生まれた町は、ボローニャと言います。エミリア・ロマーニャ州の州都です。ボローニャは、紀元前534年ごろにできた、歴史あふれる町です。肉をベースとしたソースのパスタボロニェーゼと腸詰めモルタデッラは、世界的にもよく知られているボローニャの料理です。他には、ボローニャ大学が有名で、1088年に創立された、ヨーロッパで一番古い大学です。



ボローニャのマジョーレ広場



ヴェネツィアのカナル・グランデ (大運河)

## きっかけは日本の歌

高校生の時、日本の歌に興味を持ち、日本語を独学で勉強しました。日本語を通じて、日本の文化にもほれ込んでしまい、高校を卒業してからは、ヴェネツィア大学の東アジア科に入学。大学では、日本語だけではなく、日本の歴史や文学、美術を勉強し、将来は絶対日本で生活して働きたいと決心しました。



去年の6月、太宰府天満宮で、文部科学省の試験に受かるようにお願い。

今回、文部科学省のプログラムに申し込む際は、主に中国地方や九州の大学を調べました。なぜなら、以前西日本を旅行した時、人が優しく暖かいという印象が強く、とても居心地が良かったからです。大学紹介のパンフレットが大変よくできており、講座の説明も分かりや

すかったので、広島大学を選びました。

## 広島大学の印象

ヴェネツィア大学のキャンパスは、町のあちこちにありま。なので、初めて東広島キャンパスに来た時は驚きました。とても広いので迷ってしまい、寮に帰れなくなっ。ところが何回もありました。しかし慣れてからは、緑が多くきれいな風景を楽しむことができ、広大に来て良かったと思います。広大生の初めの印象は、とても忙しそうでまじめというものでした。最初は日本語が分からないと思われ、なかなか日本人の友達ができませんでした。みんなとの距離が非常に遠く感じられましたが、大学のイベントなどでたくさんの日本人と知り合え、今では友達がたくさんいます。

日本語が上達するにつれ、文化や人がますます理解できるようになり、イタリアより日本の方が住みやすくなりました。今では、日本人の内面世界に入り込めた気がして、日本での日々を幸せに過ごしています。

## 留学で得たもの

留学のおかげで、ぐんと成長した気がします。家族や友達から離れて、自分の人生のあらゆる出来事を、客観的に見ることができました。いろんなすてきな人に出会えたおかげで、自己中心的だった態度が、



去年の11月、紅葉狩りに行った河内にて。

寛容になったと感じています。留学はまだ終わっていないので、これからもっと勉強していろんな経験をし、一人前の人間になれるようにがんばりたいと思っています。

留学して分かったのは、世界は広いということ。人は文化や生まれ育った環境が違っていても、共通点必ず見つかるということです。もちろん違いの方が多くかもしれま

せんが、それは悪いこととは限りません。話し合い、交流しながら、人は成長すると思います。ですから皆さん、なるべく異文化交流し、世界に心を開けてみてください!

(原文/日本語)

## 印象的なエピソード

初めて来日した時は、東京で1カ月間ホームステイをしました。ホストファミリーと親しくなりたいと、毎晩遅くまで日本のお母さんとお父さんとおしゃべりしていました。1年後、再び来日した時に分かったのは、実はお母さんたちは、毎晩遅くまで私とおしゃべりするのが、ちょっと負担だったということ。お母さんたちは「キアラより先に寝るのは失礼だから」と思っていたそう

です。「日本人は迷惑を掛けたくないし、積極的に自分の気持ちや思いを伝えるのが恥ずかしいからね……」とお母さんに言われました。



去年の5月、九州の宗像のホストファミリーのハイヒールと一緒に、小学校を訪問

# 体感地球

わたしの世界見聞録

“海外から広大へ”来て学んでいる外国人留学生 & “広大から海外へ”行って学んでいる日本人留学生。「外国人から見た日本は?」「日本人が見た外国とは?」…留学生ならではの視点で、見たこと、聞いたこと、感じたことをレポートします。



# 留学の体験で価値観が変わる

—常識は常識ではない—

**浦上 あさひ Asahi Uragami**  
文学研究科M1年



## ドイツ語を使ってみよう

1年生の時、第2外国語としてドイツ語を選択したのでをきっかけに、ドイツの文化や歴史に引かれ、ドイツ文学語学を専攻することに決めました。ドイツ語の学習はとても面白く、ドイツ語を読むことが趣味になりました。そのうちに、ドイツ語を現地で実際に使ってみようという気持ちが強くなりました。2年生の前期から留学について調べ始め、広島大学に在籍しながら留学でき、またドイツで取得した単位が広島大学の単位として認定される、HUSAを利用して留学することを決めました。

## スーパーマーケットで文化の違いを実感

それまで、海外での経験がなかったので、ドイツでの生活がどんなものか、全く想像が付きませんでした。ドイツで最初にびっくりし



ホーエンチュエビンゲン城からの風景



ボートでネッカー川を楽しむ

たことは、スーパーマーケットのおばさんの愛想が悪いということです。日本では、「お客さまは神様」という言葉があるように、お店に入ると、店員さんはいつもにこやかにあいさつしてくれます。しかしドイツでは「売ってあげている」という感覚が強く、日本的なサービスの概念とは全く異なります。

またドイツのスーパーマーケットは、日曜日には全て閉まってしまう。24時間年中無休のコンビニが当たり前日本に比べると、ドイツ

での生活はとても不便に感じます。ドイツの人に「日曜日に開いているスーパーが欲しいか」と尋ねると、「私が買い物をするために、従業員が日曜日に働かなければならないのは申し訳ない」と



チュエビンゲンの街並み

いう答えが。ドイツでは、客の側にも、店員という職業に対する感謝の気持ちがあって、ドイツの人々には、より人間的な結び付きがあると感じました。

留学前にドイツの生活を調べていけば、早く慣れて良かったかもしれません。しかし、カルチャーショックを受けることも、留学の醍醐味だと思います。あえて何も知らない状態で行く、というのも一つのやり方だと思いました。

## 留学経験を生かして

ドイツでは、日本の常識が通じないことがしばしばありました。今まで当然だと思っていたことも、私たち日本人の独自の文化なのだと気付かされました。帰国してからは、これまで絶対的だと思っていた自分の常識に対して、「それは本当なのか」と問い掛けることで、多面的な見方を心掛けるようになりました。

## 留学を志す広大生へ

留学は言語の習得だけがメリットではなく、自分の価値観を変える良い機会だと思います。私も留学するまでは、費用や進路などの問題でとても悩みました。しかし、実際に留学してみると、自分の興味を追

求することができ、本当に良い経験ができたと思います。現地では、人間関係がうまくいかないことや、食事や文化に慣れず悩むこともありますが、できるだけその土地の人や文化と触れ合うように、常に積極的に行動することが大切だと思います。皆さんの外国での体験が有意義であるように願っています。



近くの町へ散歩に

## 印象的なエピソード

日本人は、社交辞令で軽い約束をして、結局実現させないことがよくありますが、ドイツでそれをすると、すぐに「じゃあ、いつにする?」と具体的なスケジュールにまで話が進んでしまいます。お茶を出しましょうかと言われて遠慮すると、向こうは「本当に要らないのか!」と考えてしまうみたいです。日本では建前や遠慮が重視されますが、ドイツでは、うそをついていると思われて、失礼に当たることもあるようです。



クリスマスマーケットにて



# 広大オシャレリスト

オシャレは服装だけじゃない! 勉強、サークル、アルバイト、何かにひたむきにがんばる姿はオシャレ。HU-styleでは、そんな人を広大オシャレリストと名付け、キャンパスを歩いて見つけてきました。

**荒谷 匠**くん(理学部3年)  
所属サークル: ジャズ研究会  
2年の時からギターを始め、ジャズ研究会に入ってから、自分のギターを買いました。今ではバンドの練習に忙しいです。大学でいろんな人と出会って、趣味の仲間と熱中できることを見つけました。いろんな人と話してみると、新たな世界が開けますよ!  
撮影場所/東広島キャンパス



ジャズ研で、腕を鍛えるギターキッズ! 演奏会にぞっこ期待!



**杉木 聡美**さん(教育学部2年)  
所属サークル: 東雲パレー  
鹿兒島の徳之島出身で、小さい頃には三味線や書道をやっていました。今は学部オリエンテーションのスタッフをやっています。新入生のみならず、よろしくお願ひします! 私の所属している東雲パレーは、他のパレー団体とも交流があるので、友だちの輪が広がりますよ。優しい先輩もいっぱいいるので、ぜひ一緒にパレーしましょう!  
撮影場所/東広島キャンパス



新歓スタッフでがんばる杉木さん。先輩としての活躍に期待!

芸術を愛で、毎日を積極的に楽しむ**奥井**さん。そのライフスタイルがオシャレリスト!

**奥井 涼**さん(教育学部4年)  
所属サークル: 探検部  
ゼミで工芸を研究していて、自分で陶器を作ることもあります。最近、前から興味があったカメラを始めました。自分から一歩を踏み出すのは勇気が要りますが、すぐそこにあるささいなきっかけを大切にすること、そして何かしら目標を持つことが大切だと思います。大学生生活を楽しみましょう!  
撮影場所/東広島キャンパス



ボートで海を駆ける**山本**くん、実はフランス語をたしなむ国際派!?

**山本 大貴**くん(教育学部3年)  
所属サークル: ボート部  
高校の時からボート部です。ボートは、進む方向の反対を向いて漕ぐんです。後続の人たちを見据えながら、トップでゴールする瞬間はうれしいですね。人生と同じで、先は見えないけれど、過去が見えるのがボートの良いところ。今年は国体に出場するのが目標です! 最近の趣味は旅行で、去年の夏はフランスに行きました。今はフランス語を勉強しています。  
撮影場所/東千田公園



レースクイーンではなく、**ドライバー**!? 駆け抜ける**栗田**さん。

**栗田 侑季**さん(法学部夜間主コース4年)  
所属サークル: 自動車部  
自動車部の選手として、ダートやジムカーナなどのレースに出場しています。今年の大会は、いつもお世話になっているタカタサーキットで開催。絶対優勝したいです! 趣味は飼猫と遊ぶことやネイルアート、あとランチ巡りなど。クルマが本当に好きなので、将来クルマに関わる仕事に就きたいと思って就職活動にがんばっています。  
撮影場所/東千田キャンパス



探検部で夢をかなえる**内橋**くん。次のチャレンジにも期待!

**内橋 賢吾**くん(理学部2年)  
所属サークル: 探検部  
高校の時から走ることが大好きだったので、大学に入って念願のマラソン大会に参加しました。計画や準備をするのはとても大変でしたが、仲間と一緒に物事を成し遂げた達成感が自信になりました。大学生生活は自由な時間がたくさんあり、いろんなことができます。欲張って生活することが大事ですね!  
撮影場所/東広島キャンパス

取材を終えて

僕も大学生になって、はや2年がたちました。今回取材させてもらった皆さんは、毎日の生活の中で考え悩み、新しい挑戦をしています。誰にでも、平等に同じ時間が流れます。その時間を自分なりに輝いて過ごしていけたら良いと思いました。

取材・記事/法学部3年 本川 僚彦

けん玉の魅力を地域に伝える!

広島大学DAMAけん

私の所属している「DAMAけん」は、2001年に創設された広島大学のサークルです。

活動内容は、「けん玉」をすること。そう、けん玉です。けん玉は、とても奥が深い遊びです。一見簡単にできそうで、意外と難しい。やっているうちにどんどん引き込まれていく魅力が、そこにはあります。

皆さんも子どものころ、一度は手にしたことがあるでしょう。私たちは、大学生になってもなお、けん玉をやっている集団、ということになります。しかしメンバーは、子どものころからずっとけん玉をやっている、特殊な人たちではありません。ほとんどのメンバーが、大学生になってから、けん玉を始めています。現在約15人が在籍し、元気に活動しています。



地域の公民館でのけん玉教室

具体的な活動は、主に週に2回の練習会と休日を利用した地域活動です。地域活動では、けん玉の魅力伝えるために、広島県内の

小学校、幼稚園、児童館などを訪問し、けん玉教室を開催しています。地域でのけん玉教室は、DAMAけん創設以来続けている活動です。今や訪問件数が年間100件を超える、主要な活動に発展しました。私たちは、触れ合いを通じて、子どもたちにけん玉の魅力が少しでも伝わることを願っています。

その他にも、長期休暇を利用した沖縄遠征なども行っています。有志のメンバーが、沖縄を旅行しながら児童館などを訪問し、けん玉の魅力を伝えていきます。けん玉1本で知らない人とつながるのは、とても得がたい経験です。

けん玉には競技スポーツという側面もあります。全国大会も開かれていて、そこで上位入賞を果たすなど、DAMAけんは実力も日本トップクラスです。



競技会の様子 全国大会で準優勝したときの集合写真

「けん玉なんて昔の遊び」と思っている人がいたら、ぜひ一度、私たちの活動を見に来てください。きっとびっくりします。

(記事/広島大学DAMAけん・教育学部3年 渡辺 和広)

連絡先 090-2865-2986

HP <http://www.damaken.net/>

発見! 元気人

ガンバル広大生のPRページ。みんなで応援しよう!

アートを楽しみながら歯科技術を向上!

広島大学アートテック

こんにちは! アートテクニッククラブ(通称アートテック)部長の岡村です。アートテックは現在、歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻の約25人で活動しています。歯科技術(技工操作)の向上を主眼に置き、楽しみながらアート作品を制作しています。

皆さんはプロテーゼ・エビテーゼを知っていますか? プロテーゼは、身体の中に取り



初代の作品(ライオンの鼻)

付ける人工物で、病気や事故などで口中や顎が大きく欠損したときに入れる特殊な入れ歯などのことをいいます。またエビテーゼは、身体の表面に取り付ける人工物で、顔面に残った傷を人工的に補う装置などを指します。

アートテックは、授業で学ぶ入れ歯の製作技術を応用した指部プロテーゼ製作技術を生かして、ハリウッドの特殊メイクのような、シリコン製マスクの製作活動を行っています。今までに、ゾンビや動物のマスクなどを作りました。製作の過程で色の出し方や技法が学べ、プロテーゼ・エビテーゼ製作の練習になります。



特殊メイク(傷メイク)体験 霞祭での展示の様子。人工ボディなどの展示。

私たちの活動の集大成は、霞祭への作品の出展です。昨年はプロテーゼ・エビテーゼについて知ってもらうため、実際に医療現場で使用される人工ボディ(人工修復物)と一緒に、動物の鼻のマスクを展示しました。また、シリコンを使用した特殊メイク(傷メイク)の装着体験も行いました。

来場した方は、人工指のリアルさや人工乳房の感触に驚いていたようです。また傷メイクの装着は、なかなかできる体験ではないので、インパクトもあり、と



義歯などの製作過程のポスターの展示

でも好評でした。当日は、多くの方に人工ボディや私たちの活動に興味を持っていただき、手応えを感じました。今後はもっと多くの人に私たちの活動を知ってもらうため、さらに自由な発想で、この技術を応用していけたらと考えています。活動は、部員のスケジュールに合わせて行っています。興味のある方は、歯学部B棟5階第3・第4実習室で活動を行っているの、ぜひ声をかけてください。お待ちしております!

(記事/広島大学アートテック・

医歯薬学総合研究科M1年 岡村 美菜子)

# Hi! Hirodai Information

学内の重要なお知らせから、耳寄りなニュースまで。広大生必読のインフォメーションです。

## 平成22年度学生表彰

広島大学は、学術研究活動、課外活動、社会活動等において特に顕著な成績・功績を挙げた学生を表彰しています。

### 学長表彰

#### ●学術研究活動(学部生)

学部ごとに、卒業する学生の中から原則1人の「成績優秀者」を選定

- ◎総合科学部/桑田 雅美
- ◎教育学部/松田佳菜子
- ◎経済学部/越智 孝多
- ◎医学部/元田 敦子
- ◎薬学部/堀内 大士
- ◎生物生産学部/石井 真紀
- ◎文学部/廣藤亜沙美
- ◎法学部/山崎 啓史
- ◎理学部/仲 泰史
- ◎歯学部/弘瀬公美子
- ◎工学部/國武 芳規

#### ●専門領域において国内外の学会で高く評価される研究実績を挙げた者

- ◎薬学部/坪島 愛

#### ●学術研究活動(大学院生)

研究論文、研究業績等が国内外の学界において特に高い評価を受けた者

- ◎総合科学研究科博士課程前期/守下 卓也 (International Federation of Clinical NeurophysiologyにおいてFellowship Awardを受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎総合科学研究科博士課程後期/本間 孝信 (日本コミュニケーション障害学会研究発表奨励賞を受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎教育学研究科博士課程前期/木村 友泰 (第21回国際化学教育会議においてポスター発表賞を受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎理学研究科博士課程後期/嶋本 洋子 (2009年度日本地球化学会第56回年会において若手優秀ポスター賞を受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎先端物質科学研究科博士課程前期/林 将平 (Active-Matrix Flatpanel Displays and DevicesにおいてStudent Paper Awardを受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎先端物質科学研究科博士課程後期/五島 徹也 (酵母細胞をヒトのモデル系として癌化機構に関する基礎研究において学界で高い評価を得た)

- ◎工学研究科博士課程前期/重松 明 (International Conference on Sustainable Construction Materials and TechnologiesにおいてASCE Award Winning Paperを受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎生物圏科学研究科博士課程後期/中井 亮佑 (第1回日本学術振興会育志賞を受賞するなど学界で高い評価を得た)

- ◎医歯薬学総合研究科博士課程/土谷 佳弘 (ストレスに対する細胞応答の分子制御機構の解明の研究成果がMolecular Cell誌に掲載されるなど国内外から高い評価を得た)

- ◎国際協力研究科博士課程後期/PHETKEO POUMANYVONG (第6回日本貿易会賞懸賞論文において日本貿易会賞優秀賞を受賞するなど学界で高い評価を得た)

#### ●課外活動

体育系：「全国規模の競技会での入賞及びそれに準じる成績」以上の成績を収めた者

文化系：「全国規模のコンクール等での高い評価及びそれに準じる評価」以上の評価を得た者

- ◎体育会アーチェリー部/内田康裕 (第20回A.J.S.A.F.Cup 男子団体・2位)

- ◎体育会剣道部/土井夢香 (第44回全日本女子学生剣道選手権大会 女子個人・敢闘賞)

- ◎体育会自動車同好会/栗田侑季 (平成22年度全日本学生ジムカーナ選

手権大会 女子個人・6位)、小林健太・古田公保・繁田瑞穂 (同 男子団体・6位)

- ◎体育会柔道部/山本美樹 (第26回全日本学生柔道体重別選手権大会 70kg級・ベスト8)

- ◎体育会トライアスロン部/小林 歩・徳丸雄一・河本将治 (第15回全日本学生トライアスロン選抜大会 男子団体・4位)、小林 歩 (同 個人・4位)、小林 歩・徳丸雄一・河本将治 (2010日本学生トライアスロン選手権観音寺大会 男子団体・3位)、小林 歩・徳丸雄一・河本将治 (2010日本学生スプリントトライアスロン選手権兼トライアスロン・チームタイムトライアル選手権大会 男子団体・4位)、小林 歩 (2010日本学生デュアスロン選手権大会 個人・3位)、小林 歩 (2010世界デュアスロン選手権大会 日本代表U23の部・13位)

- ◎体育会陸上競技部/松木一馬 (第49回全日本競歩輪島大会 男子10000mW・6位)

- ◎心身統一合気道部/大西晃弘・小桜未来・玉林和紘・池田美笛・西村知也・小川美雪 (第29回全日本心身統一合気道競技大会 学生部団体の部・銀賞)、大西晃弘・池田美笛 (同 学生部個人の部・銅賞)、西村知也・小川美雪 (同 学生部個人の部・入賞)

- ◎DAMAけん/西川一穂 (平成22年度全日本けん玉道もしかめ選手権大会 2位)

- ◎フットサル部F・DO/松尾裕太・永杉茂仁・石川裕大・森崎将彦・藤岡慶太・蔵元恵佑・藤田滉史・古川賀規・松井照悟・山内佑介・結城創太・松本直仁 (フットサルプレミアシリーズ2010 男子の部・ベスト8)

- ◎文学部/片岡彩子 (第42回全日本学生フランス語弁論大会 優勝)

- ◎教育学部/武久加奈・東 由梨 (第11回大阪国際音楽コンクール 連弾部門・エスポワール賞)

- ◎工学部/木村愛実 (日本建築学会設計競技 タジマ奨励賞)

#### ●社会活動

ボランティア活動、人命救助、犯罪防止、災害防止等の社会活動で特に顕著な功績があった者

- ◎ピア・サポーター/大坂 遊 (ピア・サポーターとして本学の学生相談支援活動に貢献した)

- ◎広島大学原爆瓦発送之会/嘉陽礼文 (本学設立の際に書物等の寄付をしてくれた世界の大学に被爆した瓦を寄贈する活動を行った)

- ◎翻訳活動/PROMDEJ CHUTINAN (アジアのバイオマス情報を整理したアジアバイオマスハンドブックのタイ語訳を行った)

### 副学長表彰

#### ●課外活動(体育活動)

ブロック規模(西日本大会、中国・四国地区大会、中国地区大会)の競技会での優勝者

- ◎体育会アーチェリー部/内田康裕 (第40回中国四国学生アーチェリー個人選手権大会 男子個人・優勝)

- ◎体育会アメリカンフットボール部/新納雅裕・戸屋裕也・梶野英二郎・内田晃裕・木下陽允・近藤俊介・愛場 豪・今井伸洋・佐藤大輝・野中浩貴・大谷哲史・伊藤優平・波多野裕侍・山崎淳史・春田周作・藤本鷹之・前田佳輝・中本 真・伊藤将志・前田純志・大賀陽介・近藤雅也・西山僚平・藤田光晃・松本晃範・白山佳甫・東口卓史・野村晃生 (2010年中四国学生アメリカンフットボール秋季リーグ 団体・優勝)

- ◎体育会弓道部/藤井翔平 (平成22年度中国学生弓道競技大会 男子個人・優勝)

- ◎体育会剣道部/島添未奈美 (第42回中四国女子学生剣道選手権大会 女子個人・優勝)、島添未奈美・土井夢香・若松小穂・芝田幹江・瓜

生朋実 (第43回全国教育系大学剣道大会 女子団体・優勝)、土井麻愛・小櫻美鈴・井村千紗・島添未奈美・土井夢香・芝田幹江・瓜生朋実 (第37回中四国女子学生剣道優勝大会 女子団体・優勝)、土井夢香・山村 彩・芝田幹江 (第30回中四国学生剣道新人戦 女子団体・優勝)

- ◎体育会硬式庭球部/一宮 拓 (平成22年度春季中国四国学生テニス選手権大会 男子シングルス・優勝)、平岡晃信・一宮 拓 (同 男子ダブルス・優勝)、田中江奈 (同 女子シングルス・優勝)、田中江奈・岩坂美希 (同 女子ダブルス・優勝)、平岡晃信 (平成22年度夏季中国四国学生テニス選手権大会 男子シングルス・優勝)、平岡晃信・一宮 拓 (同 男子ダブルス・優勝)、岩坂美希 (同 女子シングルス・優勝)、田中江奈・岩坂美希 (同 女子ダブルス・優勝)、多治見幸亮 (平成22年度中国四国学生テニス新進トーナメント大会 男子シングルス・優勝)、一宮 拓 (平成22年度中国四国学生室内テニス選手権大会 男子シングルス・優勝)、平岡晃信・一宮 拓 (同 男子ダブルス・優勝)、岩坂美希 (同 女子シングルス・優勝)

- ◎体育会自動車同好会/小林健太・田中雄太・繁田瑞穂 (平成22年度全中四国学生ジムカーナ選手権大会 男子団体・優勝)、小林健太 (同 男子個人・優勝)、栗田侑季 (同 女子個人・優勝)、梯 祐貴・田中雄太・繁田瑞穂 (平成22年度全中四国学生ダートトライアル選手権大会 男子団体・優勝)、栗田侑季 (同 女子個人・優勝)、小林健太・児玉直弥・古田公保・米舩 勲 (平成22年度全中四国学生自動車運転競技選手権大会 男子団体・優勝)、古田公保 (同 男子小型乗用・優勝)、小林健太 (同 男子小型貨物・優勝)、栗田侑季 (同 女子小型乗用・優勝)

- ◎体育会柔道部/片淵健太郎 (男子29回女子26回中国四国学生柔道体重別選手権大会 男子60kg級・優勝)、山本美樹 (同 女子70kg級・優勝)

- ◎体育会水泳部/山下祐美子 (第45回中国四国学生水泳選手権大会 女子400m個人メドレー・1位、女子100m平泳ぎ・1位)、宮原 彩 (同 女子200m個人メドレー・1位、女子200m平泳ぎ・1位)、土生祐子・宮原 彩・田辺美紀・山下祐美子 (同 女子400mリレー・1位)、田辺美紀・山下祐美子・宮原 彩・小野奈津実 (同 女子400mメドレーリレー・1位)、山下祐美子 (第41回中国四国学生選手権水泳競技大会 女子100m平泳ぎ・1位、女子200m平泳ぎ・1位)、山下祐美子 (第57回全国国公立大学選手権水泳競技大会 女子100m平泳ぎ・5位、女子200m平泳ぎ・5位)、土生祐子・田尾 薫・小野奈津実・山下祐美子 (同 女子400mリレー・7位)、宮原 彩・山下祐美子・田尾 薫・小野奈津実 (同 女子400mメドレーリレー・7位)

- ◎体育会漕艇部/竹内寛真・栗原 大 (第54回中国学生ボート選手権大会 男子ダブルスカル・優勝)

- ◎体育会ソフトテニス部/工藤香那子 (第12回中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会 女子シングルス・優勝)、中村友里・工藤香那子 (第54回中国学生ソフトテニス優勝大会 女子ダブルス・優勝)、岡田知之・玉井信也・本田祐大・山口慶護・川口 凌・山本昂大・渡辺健太・楠 浩貴・立本恭平・田淵敏史・村上賢一・安池誠人 (平成22年度中国学生ソフトテニス秋季リーグ戦大会 男子団体・優勝)、岡田知之・山本昂大 (第60回中国学生ソフトテニス選手権大会 男子ダブルス・優勝)、中村友里・工藤香那子 (同 女子ダブルス・優勝)、玉井信也 (平成22年度中国学生ソフトテニスシングルス選手権大会 男子シングルス・優勝)、西永みさき (同 女子シングルス・優勝)、村上賢一・山口慶護 (第57回中国・四国・九州三地区学生ソフトテニス大会 男子ダブルス・優勝)、西永みさき・中村友里 (同 女子ダブルス・優勝)、玉井信也・山口慶護・山本昂大・渡辺健太・村上賢一・安池誠人 (第56回中・四国学生ソフトテニス選手権大会 男子団体・優勝)、西永みさき・藤田ひかる・水島彩香・中村友里 (同 女子団体・優勝)、西永みさき・朝日翔子 (同 女子ダブルス・優勝)、中村友里・工藤香那子 (第39回中国学生ソフトテニス選抜インドア大会 女子ダブルス・優勝)

- ◎体育会体操部/山田政嗣・岡田真史・漆家慎太郎・榊原諒二・飛岡諒・竹内雄太 (第43回中国・四国学生体操競技大会 男子団体・優勝)

- ◎体育会卓球部/小林顕史 (中国学生卓球連盟幹事長杯争奪卓球大会 男子シングルス・優勝)、荒木亮祐・荒木基亮 (第61回中国学生卓球選手権春季大会 男子ダブルス・優勝)、平石隆子・長尾 菜・東江千明・桑田沙季・三浦祐香子・島田知子・西田朋世・黒木未央 (同 女子団体・優勝)、長尾 菜 (同 女子シングルス・優勝)、荒木基亮・小林顕史・荒木亮祐・山田修平・碓塚貴博・出口貴久・本澤圭太・藤田陸登 (第50回全国国公立大学卓球大会 男子団体・優勝)、荒木亮祐・荒木基亮 (同 男子ダブルス・優勝)、山田修平・小林顕史 (同 男

子ダブルス・2位)、荒木亮祐 (同 男子シングルス・優勝)、荒木基亮 (同 男子シングルス・ベスト8)、長尾 菜 (同 女子シングルス・3位)、荒木基亮・小林顕史・荒木亮祐・山田修平・碓塚貴博・出口貴久・本澤圭太・松浦和輝・武田拓也・藤田陸登 (第61回中国学生卓球選手権秋季大会 男子団体・優勝)、荒木亮祐・荒木基亮 (同 男子ダブルス・優勝)、荒木亮祐・荒木基亮 (第2回三地区学生卓球選手権大会 男子ダブルス・優勝)、荒木亮祐 (同 男子シングルス・優勝)、小林顕史・山田修平・碓塚貴博・藤田陸登 (第32回中国学生卓球連盟会長杯争奪卓球大会 男子団体・優勝)、小林顕史・山田修平 (同 男子ダブルス・優勝)、小林顕史 (同 男子シングルス・優勝)、桑田沙季・東江千明・長尾 菜・西田朋世 (同 女子団体・優勝)、黒川沙織・平石隆子 (同 女子ダブルス・優勝)、長尾 菜 (同 女子シングルス 優勝)、長尾 菜・島田知子・桑田沙季・東江千明・三浦祐香子・西田朋世 (第42回中国新人学生卓球選手権大会 女子団体・優勝)、長尾 菜・島田知子 (同 女子ダブルス・優勝)

- ◎体育会トライアスロン部/小林 歩 (中国・四国学生トライアスロン選手権 学生の部・1位、第21回トライアスロンさざしま大会 男女総合・1位)

- ◎体育会馬術部/岩本 彩・岡田佳那子・甲斐 藍・川崎雅也・帖佐幸樹・西尾夏央里・江坂俊人・櫻江祐貴・竹葉千恵 (第24回夏季中国・四国地区学生馬術選手権大会 団体・総合優勝)、川崎雅也 (同 馬場馬術競技第三課目A・1位)、竹葉千恵 (同 新人障害飛越競技・1位)、岩本 彩 (同 小障害飛越競技B・1位、馬場馬術競技第三課目B・1位)、岡田佳那子 (同 学生賞典複合競技・1位)

- ◎体育会バレーボール部/日笠純美・内原実栄子・川端優美・東口裕佳子・松本紗代子・西川弥里・本田陽子・巳之口祐美・伊東弓貴・木下裕加・池浦このみ・池上 萌・森本菜津美 (第71回中国大学バレーボールリーグ戦春季大会 女子・優勝) 日笠純美・内原実栄子・川端優美・東口裕佳子・松本紗代子・横本あゆ美・西川弥里・本田陽子・巳之口祐美・伊東弓貴・木下裕加・池浦このみ・池上 萌・森本菜津美 (第54回中国四国学生バレーボール選手権大会 女子・優勝、第72回中国大学バレーボールリーグ戦秋季大会 女子・優勝)

- ◎体育会ハンドボール部/大塚隆弘・三浦郷史・松井佑翔・明渡直和・木村聡志・大橋 陽・河本雄太・小島嵩広・野田辰馬・白井友祐・高橋昌希・増原康人・室山慶太・後藤田翔吾・三山裕貴 (第48回中国四国学生ハンドボール選手権 男子2部・優勝)

- ◎体育会フェンシング部/重松 司 (平成22年九州学生フェンシング選手権春季大会 エペ・1位)、中村啓司 (同 サーブル・1位)、高木雄也 (平成22年九州学生フェンシング選手権秋季大会 フルレー・1位、エペ・1位)、津田直人 (同 サーブル・1位)

- ◎体育会陸上競技部/萩原 翔 (第64回中国四国学生陸上競技対校選手権大会 男子棒高跳・1位)、松木一馬 (同 男子10000mW・1位)、山本彩加 (同 女子400mH・1位)、相葉直紀・衣松英亮・岩藤博紀・橋口幸貴・豊永智弘・高橋秀明・真野裕史・平岡幸一郎・松田直樹・前田悠爾 (第42回全日本大学駅伝対校選手権大会 中国四国地区最終選考会・1位)、真鍋佑太 (第33回中国四国学生陸上競技選手権大会 男子やり投・1位)、松木一馬 (同 男子10000mW・1位)、真野裕史・衣松英亮・相葉直紀・岡崎翔太・増木真一郎・岩藤博紀 (第54回中国四国学生駅伝競走大会 1位)

- ◎フットサル部F・DO/松尾裕太・永杉茂仁・石川裕大・森崎将彦・藤岡慶太・蔵元恵佑・藤田滉史・古川賀規・松井照悟・山内佑介・結城創太・松本直仁 (フットサルプレミアシリーズ2010広島大会 男子の部・1位)

#### ●課外活動(芸術・文化活動)

ブロック規模(西日本大会、中国・四国地区大会、中国地区大会)のコンクール等での最も高い評価を得た者

- ◎将棋部/佐々部義之 (第83回中・四国学生将棋大会 個人の部・優勝)、山本 慎・初田隆宏・日下 翔・佐々部義之・高木勝俊・山崎大輔・村上 圭・浅尾駿太・野口佑太・松田尚人 (第84回中・四国学生将棋大会 団体の部・優勝)、佐々部義之 (同 個人の部・優勝)

- ◎裏千家茶道部/佐々木拓紀 (第31回学校茶道体験論文 佳作、第2回裏千家フォトコンクール・奨励賞)

- ◎教育学部/平山裕基 (第38回大分県音楽コンクールピアノ部門 大学、一般の部・2位)、山川智馨 (第1回鳥取県クラシックアーティスト・オーディション ピアノ部門・最優秀賞)

- ◎総合科学研究科/徐載勝 (第4回日韓(韓日)広島マダンスピーチ&交流スピーチコンテスト 日本語部門・優勝)

**マイクロソフト社のソフトウェア、ウイルス対策ソフトを無料で利用できます**

本学の学生は個人所有のPC1人1台に限り、契約に定めるマイクロソフト社製のOSやOfficeなどのソフトを無償でインストールできます(マイクロソフト包括ライセンス)。また、情報セキュリティ対策の一環として、ウイルス対策ソフトの提供も行っていきます。詳しくはWebをご覧ください。

**マイクロソフト包括ライセンス**

<https://mslicense.office.hiroshima-u.ac.jp/>

**情報セキュリティ(学内限定)**

<http://info.office.hiroshima-u.ac.jp/>

**ボランティア情報室が本格始動**

4月11日(月)から、西1福利会館多目的ホール1に、ボランティア情報室がオープンします。地域のボランティア情報の収集・発信や学生スタッフによるボランティア相談を行います。

時間…月曜日/16:20～18:00、火～金曜日/16:20～18:30

連絡先…hiroдай.vpro@gmail.com

**ボランティア団体による合同説明会を開催します**

日時	4月20日(水)	18:00～20:00
	5月14日(土)	13:00～15:00
場所	大会会館1階 大集会室	

**中井亮佑さんが第1回日本学術振興会育志賞を受賞**

中井亮佑さん(生物圏科学研究科D3年)が第1回日本学術振興会育志賞を受賞しました。同賞は若手研究者を支援・奨励するために、天皇陛下から同会に贈られた「御下賜金」をもとに創設されたものです。今回、中井さんをはじめ17人が受賞し、2月1日(火)には東京・上野の日本学士院で、天皇后両陛下ご臨席のもと授賞式が行われました。

**PRコーナー**

**平成23年度**

**広島大学 大学院教育学研究科造形芸術教育学専修2年生 教育学部造形芸術系コース4年生 制作展**

**学内展**

日時: 5月23日(月)～27日(金)  
10:00～20:00(入場は19:30まで)  
場所: 広島大学 大会会館1階 大集会室

**学外展**

日時: 5月31日(火)～6月5日(日)  
10:00～18:00  
場所: フジグラン東広島2階 東広島市民ギャラリー

連絡先: 教育学研究科 造形芸術学講座事務局  
TEL: 082-424-7140

**学内展 学外展 共に 入場無料**

**ファイナンスカフェを開催しました**

昨年12月15日(水)、東広島キャンパスのマーメイドカフェ広島大学店で、広島大学ファイナンスカフェを開催しました。財務系の若手大学職員が、本学の財務状況などについて説明しました。当日は23人の学生が参加し、さまざまなテーマについて、意見交換を行いました。主催者は、学生の声を大学運営に生かす機会を今後も継続したいと語りました。

**「HU-style」アンケートにご協力ください**

「HU-style」をよりよいものにするため、本誌に対する、ご意見・ご感想を募集しています。ご意見はウェブまたはメールでお寄せください。

**ウェブ** もみじ **HU-style** ブログ **アンケート**

**メール** [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)

**2011年4月～8月までの主なスケジュール**

4月	4.1～28	健康診断*
	4.3	入学式
	4.4～6	新入生学部別ガイダンス
	4.4～22	履修手続期間*
	4.5～20	授業料免除申請受付* 平成23年度入学の大学院生(4/5、7、13) 平成23年度入学の学部学生(4/18～20) 露・東千田キャンパスの学部学生・大学院生(4/6、8、11)
	4.5～26	G.ecbo(海外インターンシップ)派遣学生募集(大学院生)
	4.6～7	交通安全講習会
	4.6～12	日本学生支援機構奨学金出願受付*(学部2年生以上)
	4.7	TA(ティーチング・アシスタント)研修会(東広島キャンパス)
	4.8	TA(ティーチング・アシスタント)研修会(霞キャンパス)
	4.8	バイク安全講習会(新入生)
	4.8	給付奨学金(地方育英会・財団等)の事前申請受付(新入生)
5月	4.11	前期授業開始
	4.14～21	日本学生支援機構奨学金出願受付*(大学院在学採用)
	4月中旬～	新入生オリエンテーションキャンプ*
	4.30	前期授業料振り込み締め切り(在校生)
	5.6～16	日本学生支援機構奨学金申請受付(新入生)
	5月中旬	留学フェア
	5.18	前期授業料振り込み締め切り(新入生)(予定)
	5.21	TOEIC®IPテスト
	6.5	フェニックスコンサート
	7.3	ゆかたまつり
	7.11～8.26	後期分授業料免除申請受付*
	7.19	学位記授与式(博士)
7月	7月中旬～	学生による授業評価アンケートおよび
	8月中旬	教育プログラム評価アンケート回答期間
	7.25～8.5	学期末試験*
	8.5	前期授業終了
	8.5～10	INU学生セミナー
	8.6～9.30	夏季休業
8月	8.8-9	オープンキャンパス*

**注意** ※印のあるものは、学部・研究科などによって日程が異なります。必ず「もみじ」やHP、掲示板などで確認してください。



**COVER 人 第25号**

表紙の撮影場所は、霞キャンパスの大学病院屋上のヘリポート。緊急時にはドクターヘリが発着します。明るい笑顔がすてきな神野くん。広大での思い出を糧に、社会に羽ばたいてください。

**神野 達郎さん**

- 総合科学部卒業
- ゼミでは社会心理学を専攻。広告系会社に就職が決まり、この春から社会人としてがんばっています。

**本人コメント**

無事卒業も完成し、実験に参加していただいた方、お世話になった桐子先生、院生の方々には感謝しきれません。在学中は、広島大学消費生活協同組合組織部OZ、ダーツサークルverdigris、イベント企画サークルLiNkxなどで活動しました。良い先輩、同級生、先輩と慈悲深い先生に恵まれた広大での生活は本当に良かったです。

**表紙モデル募集**

表紙を飾ってくれる学生を募集します。ぜひ出てみたいという方、ちょっと興味があるんだけど…という方は、気軽に編集部までご連絡ください。自薦他薦は問いません。

**CONTENTS**

- 01 あの人に会いたい
  - 01 村上たかし
- 特集 03 留学ってどうなん?
  - 03 Knock on the door
- 07 学生取材班が行く
  - 07 平和科目必修化がスタート
  - 07 ヒバリを守る 野生動物と触れ合えるキャンパスに
- 08 社会科学研究科 松原研究室訪問
- 09 羅針盤 OB&OG紹介
  - 09 山本和英
  - 10 小山田浩子
- 11 体感地球 わたしの世界見聞録
  - 11 キアラ・コマストリ
  - 11 浦上あさひ
- 13 学生取材班が行く「特別編」
  - 13 広大オチャレスト
- 14 発見! 元気人 ガンバル広大生のPRページ。みんなで応援しよう!
  - 14 広島大学DAMAけん
  - 14 広島大学アートテック
- 15 Hi! Hirodai Information
  - 15 各種お知らせ
  - 16 COVER 人
  - 16 編集部からのお知らせ

**編集部からのお知らせ**

**HU-style (エイチユースタイル) 編集基本方針**

- 学生に「挑戦する、行動する」一つのきっかけにしてもらうべく、「人」に焦点をあて、学生、教職員、卒業生をはじめさまざまな人々が持つ多様な個性、価値観など(style)を紹介する。
- 本学に関する情報の伝達と周知

**投稿募集**

- ①掲載記事について
    - 1件につき、400字以内でお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。文章は編集部で手直しさせていただきます。紙上での匿名もOKです。
  - ②情報の提供、「HU-style」への提言
    - 取り上げてほしい人物・テーマなどの情報をお寄せください。氏名(ふりがな)、所属、学年、連絡先を明記。
- ※①②とも、原則としてEメールで投稿してください。

**学生広報スタッフ募集!**

本誌の企画・編集に参加していただける学生を募集しています。希望される方は、まずはEメールでご連絡ください。

**定期購読のお申し込み**

学外の方で、定期購読を希望される方は、住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業を明記し、Eメールまたはハガキでお申し込みください。

**本誌の記事・写真等の無断転載を禁じます**

**個人情報保護について**

投稿、応募、購読申し込みに記載の個人情報は、編集部からの連絡に利用します。投稿および応募結果は、本誌以外の各種媒体に掲載する可能性があり、掲載時には原則として、氏名、所属、学年を記載します。事前に承諾を得ない限り、個人情報をこれ以外の目的には利用しません。郵便物やEメールなどは適切に管理し、使用後は破棄します。

**お問い合わせ・お申し込み**

広島大学広報グループ「HU-style」編集担当  
(連絡先は下記参照)

**編集後記**  
年に4回行う表紙撮影。どこで撮影するのかは、モデルや季節、発行時期などを踏まえて、編集会議で考えています。25号ともなると、既にキャンパスのさまざまな場所で撮影をしているので、まだ撮影したことのない新たなスポットを探すのが大変です。撮影は季節を先取りして行きます。今回のヘリポートでの撮影は2月上旬に行ったのですが、4月号らしくモデルさんには春っぽい格好をして参加してもらいました。とはいえ、まだまだ寒い2月上旬、寒いお疲れ様でした。  
(編集部員K)

HU-style 2011年4月号 Vol.25(季刊)

編集・発行 広島大学広報グループ  
住所 〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号  
電話 082-424-6017  
F a x 082-424-6040  
E-mail [koho@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:koho@office.hiroshima-u.ac.jp)  
制作 有限会社トゥービー  
印刷 中本総合印刷株式会社

※次号は7月上旬発行予定です。(4月、7月、10月、1月の年4回発行)